

八幡浜市障害者施設いきいきプチファームの指定管理者候補者について

施設所管課（社会福祉課）より施設の概要と指定管理者候補者の説明

※現管理者である社会福祉法人 和泉蓮華会（以下「和泉蓮華会」）施設関係者同席

○非公募とする主な理由

・当該施設の利用者である障害者は、環境変化に対する適応が苦手であり、些細な変化が精神的・肉体的に大きな負担となる。長い年月により築き上げてきた利用者と現指定管理者との信頼関係は、必要不可欠なものであり、特に自主事業として実施する相談支援事業については、過去のカウンセリングが貴重な財産となっている。所管課としては、利用者に対して質の高い安定的なサービスを継続的に提供するには、事業者の変更による環境の変化や職員の交代を可能な限り回避することが望ましいと考えている。

・障害福祉サービスを新たに開始するには、県への事前協議と認可が必要となることから、当施設は新規事業の企画提案や指定管理料節減等の公募によるメリットを生かしにくい施設である。

・和泉蓮華会の運営実績は、企業グループ内のネットワークを最大限に活用して多くの一般就労に繋がっているほか、企業グループのタクシー会社と連携した送迎サービスを実施し、利用者ニーズの充足とサービス向上に努めている。また、グループ内のノウハウを駆使し、制度改革時の迅速な対応と地域ニーズに応じた柔軟な体制整備を実現している。

・地域への貢献として、市内小中学校のプール浄化に使用するEM活用液の無料提供や全国障害者スポーツ大会で使用したタオルの縫製など、様々な分野で障害者に対する市民の意識啓発と障害者の社会参加促進を図りながら地域貢献に努めている。

以上のことから、非公募により社会福祉法人和泉蓮華会を引き続き指名したい。

また、今回の更新では、和泉蓮華会が自主事業として実施してきた相談支援事業について、サービス継続化を求める観点から、指定管理者の事業として位置づける形で協定を締結することを予定している。

・和泉蓮華会より補足説明。

施設の利用者、家族、職員との連携、信頼関係が築けているので、利用者からは、送迎もあり、食事もおいしいと喜ばれている。

【主な意見・質疑】

委員：事業全体としての利用は増加傾向だが、日中一時事業の利用が減少傾向である。どのように捉えているか。

所管課：日中一時は児童の利用が多い部門である。市の放課後等デイサービス「巣立ちクラブ」開設され、障害児では主にそちらを利用する人が増えたためと考える。

委員：職員の異動についてどう考えているか。固定すると停滞するのではないか。

所管課：直接利用者と接する支援員、相談員については、地元雇用を原則に固定化を図っているが、施設の管理運営面を改善する立場の管理職等については、本部を通じて異動がある。

委員：利益剰余金はどのように処理しているのか。

和泉蓮華会：利益剰余金はプールされることになる。

委員：収支の計算はプチファーム単独でしているのか。

所管課：収支報告は、社会福祉法人の全体の収支からプチファームに係る経費について抽出して算出している。

委員：利用者のニーズを考えた場合に、新たな事業、取り組みを考えているものがあるか。

和泉蓮華会：就労移行支援事業のさらなる充実に力を入れていきたい。

委員：災害時の危機管理について、どのように考えているか。

和泉蓮華会：消防署と協議し、避難場所は施設とすることがまず一番としている。二次被害に関する対応は、近隣のダイキ、社会福祉協議会への避難を考えている。

就労支援事業で農作業を行っているので、米、農作物等の数日の食糧を常に備蓄している。

委員：送迎サービスが強みということだが、他の施設では自分達で通所しているのか。

和泉蓮華会：他の施設の情報はよく分からない。

委員：月額工賃が県平均より高額だが、どのような理由か。

和泉蓮華会：他の事業所にはない縫製の事業が主となっている。幼稚園児の制服、防災頭巾、消防フェスタで用いるハッピー等の受注を受けており、売上に繋がっている。

委員：一般就職される方は多くいるのか。

和泉蓮華会：学校からそのまま一般就職される方が多いので、施設から一般就職される方は少ない。

【結論】

そのほかに意見はなく、「社会福祉法人和泉蓮華会」を指定管理者候補者とするということについて異論は無いということでした。